

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 毎月最終例会 18:00
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 和田正敏
 幹事 田部井良和
 会報・雑誌委員長 宮尾紘司

No. 44

ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

きょうの例会

第858回 平成12年 6月26日(月)

夜間例会

(会長・幹事慰労会を兼ね最終例会)

名古屋マリオットアソシアホテルにて18時～

先週の記録

第857回 平成12年 6月20日(火)

晴

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会員	71(65)名	出席	53名
出席率	81.54%		
前々回	6月6日	(修正出席率)	98.46%

◆ビジター紹介

守山RC 新熊 清君 他1名

ニコボックス

池森 由幸君 ルシアナさんを日曜日からお預かりしました。成田さん有難うございました。5月末から3週間お休みしました。ギリシャでちょっと勉強と遊びはちょっと…ではありませんでした。

松居 敬二君 本年度の麻雀会で優勝しました。和田会長杯を期待して!! 孫のジョエル君が23日に帰名します。楽しみです!!

宮尾 紘司君 バスが大幅に遅れて、ケイトの見送り遅れました。

水野 民也君 本日、娘(ケイト)がアメリカへ帰りました。

水野 賀績君 東欧へ行ってきました。

水谷 祥督君 前の例会休みました。夏場所で鳴戸部屋が来ました。大変です。

大口 弘和君 小杉さん、ありがとう。

佐久間良治君 2週連続で休ませて頂きました。

笹野 義春君 吉田前会長のスピーチを期待していましたが、ヤボ用の為早退させて頂きます。

和田 正敏君 ニコボックス、バンザーイ!松居さん

吉田 節美君 本日卓話を行います。30分ジッとガマンするより、ゆっくりお休みいただいた方が健康的です。

林 哲央君、河村 政孝君 会員増強にご協力ありがとうございました。

秋山 茂則君、福井 章君、二村 聡君、萩原喜代子さん、伊原 正躬君、池田 隆君、石黒 正則君、伊藤 健文君、伊豫田博明君、加藤 重雄君、加藤 大豊君、小林 明君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、小坂井盛雄君、黒須アイ子さん、牧野登志子さん、松島孝彰君、三好 親君、森 幸一君、中山 信夫君、西川 豊長君、西野 英樹君、鷺谷 龍男君、佐野 寛君、鈴木 正男君、鈴木 理之君、田部井良和君、竹内 眞三君、谷口 優君、山田 壽勝君、山本 英次君、吉田 玄君 毎日暑いですね。お元気ですか。

◆会員増強委員会より記念品贈呈

今年度新入会員を推薦された方に、会員増強功労賞として河村会員増強委員長より記念品が贈呈されました。

推薦者 大口 弘和君、和田 正敏君、河村 政孝君、松居 敬二君、鈴木 正男君

田部井幹事報告

1. 本日例会終了後、諮問委員会を開催致しますので担当の方は百合の間にお集まり下さい。
2. 次回例会は26日(月)午後6時より、名古屋マリオットアソシアホテルにて開催致しますので、27日(火)の例会はございません。
3. ガバナー月信がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

和田会長挨拶

会長として、この会場で挨拶をすることは今日が最後です。今月は職業奉仕として、病気に対する私の考

えを話しています。先週からの続きとして私の個人的な分類の、

3) 内分泌系の疾患。

4) 感染症。

5) その他について話します。

3) 内分泌の疾患：

代表的な病気は糖尿病です。この病気の患者様は年々増えています。以前は、成人病と言われていましたが、今、生活習慣病の範疇です。この病気は膵臓から分泌されるインシュリンが正常に働くか否かで、治療も大きく分かれます。家族歴に糖尿病がある方は、遅かれ早かれ何らかの変化がでます。この病気は尿に糖が出ているだけの問題ではないのです。3つの大きな合併症があります。目・腎臓・末梢神経が侵されます。私はこの疾患が発症すると、全身の血管の病変が侵攻する事に問題があると考えています。事実、狭心症・心筋梗塞の方に糖尿病の既往が多いのです。

人間は自律神経系でコントロールされています。それに関与するのが、内分泌物質(ホルモン)であり、遺伝子レベルの問題です。そのホルモンをいかにして見つけ、いかに治療に貢献するかが、現代医学の最大のテーマの一つです。

4) 感染症：

人類の歴史が始まってからの戦いです。細菌もウイルスも人間と共存共栄してきているのです。両者とも人間の技術が進歩すればするだけ、それに対する耐性と変異を繰り返します。人の遺伝子の異常はウイルスに影響されているとの説もあります。感染症(エイズ、C型・B型肝炎、病原性大腸菌、結核、ポリオ、MRSA)これらに汚染されないためには、自らが予防することです。最大の予防は、感染するようなことはしない、させない。自分自身の体力が落ちないように、日常生活(早寝・早起き、快食・快便、8時間働き・8時間遊び・8時間寝る。)に気をつけることです。

5) その他：

いわゆる、超現代に生きる我々が、おちいりやすく、現代医学でも治しきれない疾患はこころの病気です。こころの病気は赤ちゃんからお年寄りまで、どんな年齢でも性別に関係なく本人の自覚がないままその人の環境や人間関係などが複雑にからまって、突然発症しています。その治療(助ける)は、友人や家族が、その人に誠心誠意接してあげる(人間の絆)しか、救う方法はないのです。

最後に、こころの病気についてふれましたが、私は、この千種ロータリークラブに入会し、とてもすてきな仲間に出会うことができました。いつのまにか！この病気にかからない免疫ができたと思います。

◆卓 話

“趣味・ヨットに因んで”

会員 吉田 節美君



本日は私の趣味ヨットに就いて若干お話ししたいと思います。先ず、ヨットとはどんな船かと言いますと、唯単に乗りまわす楽しみの為の船であり直接生産には全くかかわらない船、それがヨットの必要にして且つ充分な定義ではないかと思ひます。そしてそんなヨットは1660年英国のチャールス2世にオランダの東印度会社から贈られたのが英国に於けるヨットの始まりと言われて居ります。そしてヨットの楽しみ方としては、ヨットのレース、未知の世界に憧れる巡航型のヨット、小船ディンギーに依る遊び、クリッパーの夢をレースに再現したオーシャンレース等が代表的なヨットの楽しみ方と思ひます。そして社会構造の変化と共にヨットの歴史も色々移り変わり段々と上流階級の遊びから庶民の遊びに近づいて参りました。そして1851年英国のワイド島一周レースに勝ったアメリカ号が持ち帰った純銀製のカップが起源となったアメリカズカップは150年の歴史の中でヨットレースの最高峰と位置づけられて今年第30回目の大会がニュージーランドに於いて行われました。1月2日から12日までのセミファイナルレースを皮切りに順調に勝ち進んだイタリアチーム、ルナロッサと防衛艇ニュージーランドチームの間に9戦5勝方式で行われニュージーランドの5連勝で再びカップはニュージーランドの手に渡り終幕しました。今回の大きな特徴はアメリカ勢が優勝決定戦に出られず大変さみしい事でありましたが別の見方をすれば、これはヨット界の変化を意味し時代は刻々と変わりつつある様に考えられます。此のレースにチャレンジした、ニッポンは準決勝で敗退し海外に比べ力の差を歴然と見せつけられた訳ではありますが、その敗因としては人材の育成と組織作りの不足の2点につきると言われて居ります。アメリカズカップの様な華やかな舞台に立つまでのクルーの経験で大きな差をつけられて居るのが根本的な敗因ではないかと考えられます。次回のアメリカズカップにもニッポンはチャレンジすると思ひますが健闘を祈るのみです。

◆次回例会(7月4日)

新・旧会長挨拶

前年度皆出席者表彰